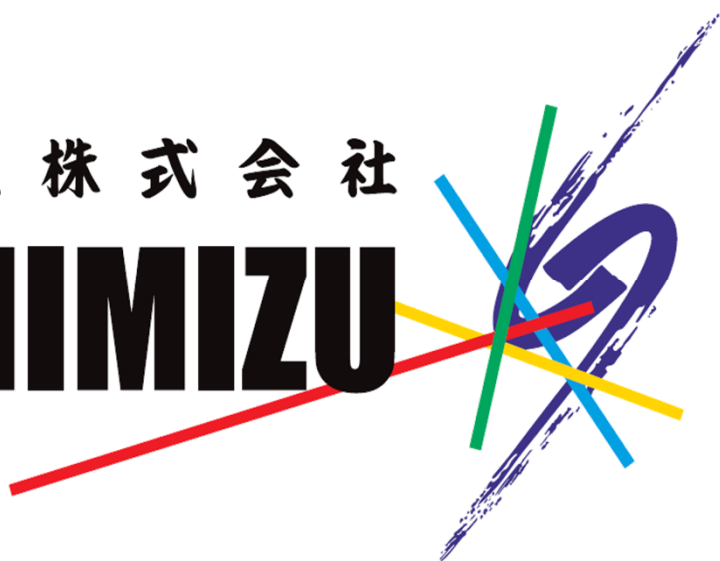


滋賀シミズ精工株式会社

**SHIGA SHIMIZU**



## 環境経営レポート

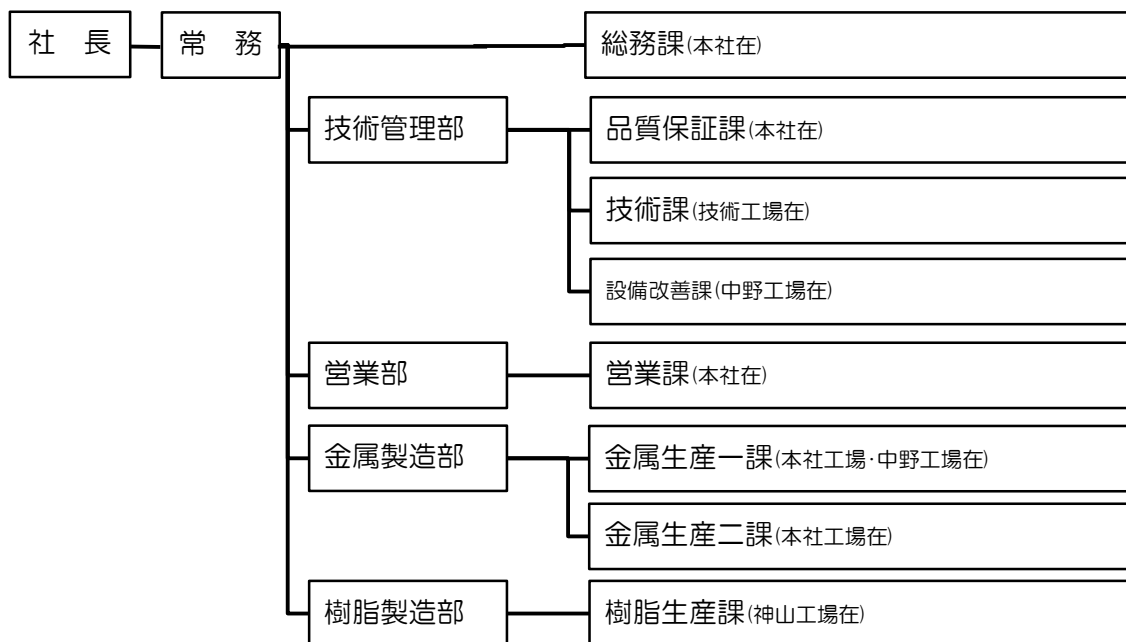
2021

## 1 組織の概要

事業者名	滋賀シミズ精工株式会社		
代表者名	取締役社長 清水章雄		
所在地	本社・本社工場 〒529-1835	滋賀県甲賀市信楽町中野688番地	滋賀県甲賀市信楽町中野684番地
	中野工場	滋賀県甲賀市信楽町中野684番地	滋賀県甲賀市信楽町神山2116-2
	神山工場	滋賀県甲賀市信楽町神山2116-2	滋賀県甲賀市信楽町中野352-1
	技術工場	滋賀県甲賀市信楽町中野352-1	
環境管理責任者	小西 博之	主担当者：久保井 卓也	連絡先：0748-82-1191
事業概要	金属製及び樹脂製のベアリング保持器の製造 ならびに エンジン補機用およびステアリングユニット用等の自動車向け部品の製造		
事業規模	資本金	3000万円	
	売上高	24億円	
	従業員数	147名	

## 2 対象範囲(認証・登録範囲)

当社にある、すべての組織に適用



## 3 環境経営方針

滋賀シミズ精工株式会社は、環境関連の法令・規則を遵守し、自主的かつ積極的に地球環境への負荷を軽減させるために、ベアリング用保持器及び自動車部品の製造・販売における事業活動のあらゆる面で、全社員が一丸となって環境保全に努めるとともに、継続的に改善に取り組む

## 4 ◎ 環境経営目標

環境管理項目の前年度実績の1%減(原単位)

エネルギー消費量の削減

廃棄物排出量の削減

水道使用量の削減

化学物質(劇物)使用量の削減

環境配慮への取組 1件以上

5・6・7 環境経営計画と取組結果とその評価

行動指針	責任者 活動者	環境目標 (原単位)		目標を達成するための主な方策	管理指標	2019年度実績 (同月累計実績)		計画/実績 進捗率(日時点での実績)		同期比評価					
		2020年度	中長期			計画	実績	合計	月平均						
1. エネルギー消費量の削減	責任者 田中部長 植西部長 小西部長  活動者 全員	前年度実績 原単位の1%削減	2022年まで毎年前 年度実績 原単位1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電力消費量の削減</li> <li>* LED照明の導入</li> <li>* 休憩・休止時の電源OFF</li> <li>* 空調機の温度設定を夏季28℃ 冬季20℃にする</li> <li>* 衣服の調整で空調機の使用頻度を抑える</li> </ul>	本社工場	1019 MWh	実績	779	65	原単位で本社5%増 原単位で神山3%増 原単位で中野8%増 原単位で技術26%増 コロナに伴い、使用量は20%減少した。					
					神山工場	1759 MWh	実績	1497	125						
					中野工場	700 MWh	実績	631	53						
					技術工場	201 MWh	実績	199	17						
					電力合計	3680 MWh	合計	3106	259						
					原単位	1.10 MWh	月目標		1.09		前年度同月累計比率				
							実績		1.28			× 116.3%			
									実績率						
									評価						
									■ 化石燃料消費量の削減		ガソリン <sub>社用車</sub>	6900 kg	実績	4255	355
					軽油 <sub>社用車</sub>	1855 kg	実績	2290	191						
					軽油 <sub>トラック</sub>	1174 kg	実績	787	66						
					運搬燃料合計	9929 kg	合計	7332	611						
					運搬燃料原単位	3.0 kg	月目標		2.95	前年度同月累計比率					
							実績		3.03		× 101.7%				
							実績率								
							評価								
					LPG(本社)	0 kg	実績	0	0	前年度同月累計比率					
					(中野)	0 kg	実績	0	0						
					(技術)	73 kg	実績	75	6						
					灯油 <sub>社用車・トラック</sub>	1255 kg	実績	758	63						
					燃焼燃料合計	1328 kg	合計	833	69						
					燃焼燃料原単位	0.40 kg	月目標		0.39	前年度同月累計比率					
							実績		0.34		○ 85.0%				
							実績率								
							評価								
					化石燃料消費量原単位	3.38 kg	月目標		3.54	前年度同月累計比率					
							実績		3.54		× 104.6%				
							実績率								
							評価								
					エネルギー消費量原単位1%減	1.11	月目標		1.29	前年度同月累計比率					
							実績		1.29		× 116.4%				
							実績率								
							評価								
2. 二酸化炭素排出量の把握				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 二酸化炭素排出量の削減</li> <li>電力CO2排出係数：0.334</li> </ul>	CO <sub>2</sub>	1,539,142 t-CO <sub>2</sub>	実績	1,068,181	89,018	前年度同月累計比率					
					原単位	462 t-CO <sub>2</sub>	実績		457		○ 95.7%				
							実績率								
							評価								
3. 廃棄物排出量の削減	責任者 田中部長 植西部長 小西部長  活動者 全員	前年度実績 原単位の1%削減	2022年まで毎年前 年度実績 原単位の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業廃棄物の削減</li> <li>* 工程内不良の削減</li> <li>* 産業廃棄物量の監視</li> <li>* 汚泥からの水分除去</li> <li>* 廃油から再利用可能な油の抽出</li> <li>* レンタルウエスの活用</li> </ul>	廃金属	0 kg	実績	0	0	前年度同月累計比率 ○ 43.6%					
					廃フラ	4600 kg	実績	4440	370						
					廃油	880 kg	実績	0	0						
					汚泥	21260 kg	実績	4030	336						
					合計	26740 kg	合計	8470	706						
					廃棄物排出量原単位1%減	80 t	月目標		4.42		前年度同月累計比率				
							実績		3.5			○ 43.6%			
									実績率						
									評価						
					4. 水道使用量の削減	責任者 田中部長 植西部長 小西部長  活動者 全員	前年度実績 原単位の1%削減	2022年まで毎年前 年度実績 原単位の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 節水への取り組み</li> <li>* 水処理量のコントロール</li> <li>* 水量調整</li> <li>* 表示物による節水意識の啓発</li> </ul>		本社工場	2770 m <sup>3</sup>	実績	1988	331
神山工場	912 m <sup>3</sup>	実績	538	90											
中野工場	136 m <sup>3</sup>	実績	140	23											
技術工場	139 m <sup>3</sup>	実績	138	23											
合計	3957 m <sup>3</sup>	合計	2804	467											
原単位1%減	1.82 m <sup>3</sup>	月目標		1.15						前年度同月累計比率					
		実績		1.18							○ 64.7%				
				実績率											
				評価											
5. 化学物質使用量の削減	責任者 小西部長  活動者 金属生産課	前年度実績 原単位の1%削減	2022年まで毎年前 年度実績 原単位の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 化学物質使用量の削減</li> <li>* 外観処理量と化学薬品使用量の監視</li> </ul>						苛性ソーダ	208.0 kg	実績	190	1.6	前年度同月累計比率 ○ 17.7%
					硫酸	0.0 kg	実績	8.0	0.7						
					塩酸	0.0 kg	実績	0.0	0.0						
					合計	208.0 kg	合計	270	2.3						
					原単位1%減	0.062 kg	月目標		0.062	前年度同月累計比率					
							実績		0.011		○ 17.7%				
									実績率						
									評価						
					6. 製造工程及びサービス活動での環境に配慮した活動	責任者 田中部長 植西部長 小西部長 活動者：全員	環境に配慮した活動件数 2件/年	2022年まで毎年 2件/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造工程及びサービス活動での環境に配慮した取組み</li> <li>* 環境標語の募集</li> <li>* 省エネ設備の導入</li> <li>* 工程内不良の削減</li> </ul>	取組み件数	2 件/年	実績	13		
										取組んだ内容					
7. 美化活動	責任者 植西部長 活動者 全員	工場周辺の美化活動 1回/月	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 工場周辺の美化活動</li> <li>・ 浜海エコフオスター活動の推進</li> <li>* 工場周辺の緑化活動</li> <li>・ 浜海エコフオスター活動の推進</li> </ul>						美化活動継続実施中					

次年度(中長期)目標

原単位での前年実績1%減を継続する。また、中長期(～2022年)に関しても、毎年1%減を目標とする。

- 8 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無  
環境関連法規制に関する違反と訴訟、環境当局からの違反等の指摘はありませんでした。

環境法規制等遵守状況

2020年3月31日現在

NO	区分1	区分2	適用区分	法令等名称	遵守状況
1	法律	努力義務	適用	環境基本法	適合
2	法律	努力義務	適用	循環型社会形成推進基本法	適合
3	法律	努力義務	適用	地球温暖化対策の推進に関する法律	適合
4	法律	努力義務	適用	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	適合
5	法律	努力義務	適用	環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	適合
6	法律	罰則規定	適用	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適合
7	法律	罰則規定	適用	リサイクル法	適合
8	法律	罰則規定	適用	毒物及び劇物取締法	適合
9	法律	罰則規定	除外	容器包装リサイクル法	---
10	法律	罰則規定	適用	家電リサイクル法	適合
11	法律	罰則規定	適用	自動車リサイクル法	適合
12	法律	罰則規定	適用	水質汚濁防止法	適合
13	法律	罰則規定	除外	下水道法	---
14	法律	罰則規定	適用	浄化槽法	適合
15	法律	罰則規定	除外	大気汚染防止法	---
16	法律	罰則規定	除外	騒音規制法	---
17	法律	罰則規定	除外	悪臭防止法	---
18	法律	罰則規定	除外	振動規制法	---
19	法律	罰則規定	除外	省エネ法	---
20	法律	罰則規定	適用	化管法	適合
21	法律	罰則規定	適用	消防法	適合
22	製品	国際制限	適用	REACH規制	適合
23	製品	国内制限	適用	PRTR制度	適合
24	製品	国際制限	適用	RoHS規制	適合
25	製品	国際制限	適用	ELV指令	適合
26	条例	罰則規定	適用	滋賀県公害防止条例	適合
27	法律	罰則規定	適用	フロン排出抑制法	適合
28	製品	自動車業界自主規制	適用	GADSL	適合
29	法律	罰則規定	適用	輸出貿易管理令	適合

9 代表者による全体の評価と見直し

2007年から、全社一丸となり、環境取り組みを行い、環境負荷の低減に取り組んできました。昨年は、コロナウイルスに振り回される一年でしたが、エネルギーの総使用量の観点からすると減少しました。原単位評価では目標の達成ができなかった項目もありましたが、変化点があったとしても、毎月監視しているデータから遡れるものばかりでした。毎月のデータ分析を行っているからこそその結果だと考えます。近年は、エネルギー使用量などが下げ止まりの傾向で、目に見える成果として結果を残しにくくなっていますが、日々の変化を観察し、すぐにアクションが取れる体制を維持し、少しでも環境負荷の低減が出来るよう、今後も環境に配慮した活動に取り組んで参ります。